

- 当局申請する資格・種類・等級コードを選択します。
19号様式に記載する内容と同じ資格コード・種類コード・等級コードを、ページ内に表示されている表の対応関係に従い、上から順に選択ください。
- 次ページの注意事項も確認しながら選択してください。

選択する資格・種類・等級の対応関係

※各コードの頭の英字のみ記載しています（詳細な対応は次ページ）

資格コード		種類コード		等級コード
A1,A3,A4,A5 T1,T2,L1,L2	➡	A,H,S	➡	LSP,LST,LMP,LMT, SSP,SST,SMP,SMT
	➡	G	➡	MGO,MGH,HGC
G1,H1	➡	A,H,G,S	➡	---
F1	➡	F,C,T,I,N,E,R	➡	---
C4,K1,J1	➡	---	➡	---

!! 注意 !! 資格・種類・等級コード選択時に注意すべきポイント

- 会場予約時点では予約内容が誤っていた場合にも予約が完了しますが、当局における突合ができず、試験申請が不受理又は結果が無効となる可能性があります。確実にご確認の上、会場予約を行ってください。
- ✓ 選択する資格コード・種類コード・等級コードは、下記を誤りのないように選択ください。
等級は実地試験で用いる機体の等級を選択してください。
- ✓ 各資格と選択可能な種類・等級の組み合わせは下記参照（同色の中からのみ選択可能です）。
※特に、受験する資格が工場整備士ではないにも関わらず、工場整備士に対応した種類である「タービン」、「計器」等を選択するミスが多発しております。
- ✓ 選択内容は当局申請（19号様式）に記載する資格・種類・等級と一致している必要があります。

資格コード	資格名称	種類コード	種類名称	等級コード	等級名称	種類
A1	定期運送用操縦士	A	飛行機	LSP	陸上単発ピストン機	飛行機・回転翼航空機
A3	事業用操縦士	H	回転翼航空機	LST	陸上単発タービン機	
A4	自家用操縦士	G	滑空機	LMP	陸上多発ピストン機	
A5	准定期運送用操縦士	S	飛行船	LMT	陸上多発タービン機	
T1	一等航空整備士			SSP	水上単発ピストン機	
T2	二等航空整備士			SST	水上単発タービン機	滑空機
L1	一等航空運航整備士			SMP	水上多発ピストン機	
L2	二等航空運航整備士			SMT	水上多発タービン機	
				MGO	曳航装置なし動力滑空機	
				MGH	曳航装置付き動力滑空機	
				HCG	上級滑空機	

資格コード	資格名称	種類コード	種類名称	等級コード	等級名称	種類
G1	操縦教育証明	A	飛行機	---		
H1	計器飛行証明	H	回転翼航空機			
		G	滑空機			
		S	飛行船			

資格コード	資格名称	種類コード	種類名称	等級コード	等級名称	種類
F1	航空工場整備士	F	機体構造	---		
		C	機体装備品			
		T	タービン			
		I	計器			
		N	電子装備品			
		E	電気装備品			
		R	無線通信機器			

資格コード	資格名称	種類コード	種類名称	等級コード	等級名称	種類
C4	航空通信士	---		---		
K1	航空英語能力証明					
J1	運航管理者					

【注意】等級コードについては、実地試験で用いる機体の等級※を選択すること。

※複数等級受験予定の場合はそのうちいずれかの等級に統一して選択すること。